

## JR各社が18年に行うダイヤ改正は3月17日

毎年この時期には各鉄道会社でダイヤの改正が行われます。またそれに合わせ駅から伸びるバス会社でもダイヤ改正が行われることも多く見られます。今回はなぜダイヤの改正が必要になるのかを見ていきましょう。



## ダイヤ改正はなぜ必要？

ダイヤを見直す理由はいくつかありますが主な4つを挙げてみます。

### ①新路線が開通したり他路線との乗り入れを行う

最近は大都市圏を中心にかつて貨物線だった路線を旅客化(湘南新宿ライン、おおさか東線など)したり、鉄道業者同士の相互乗り入れ(阪神なんば線、東急東横線と東京メトロ有楽町線など)が多くなり、乗り入れ路線だけでなく事業者間での大規模なダイヤの見直しが増えています。また対象になる路線と乗り換えがある駅でも接続ダイヤの見直しが必要となります。

### ②駅が新設、廃止される

駅が新設されると停車時間や加減速の時間を加味してダイヤを組み直す必要があります。同様に廃止された場合は通過となるため速度調整を含め見直すこととなります。今年のJRダイヤ改正では以下の3駅が新設されます。

- あしががフラワーパーク (両毛線) ※4月1日開業
- JR総持寺 (東海道線)
- 衣摺加美北 (おおさか東線)

### ③新型車両が「出揃う」

その線や列車で使用される車両が全て新型に切り替わるタイミングというのもあります。新型車両が出揃うまでは従来の車両性能に合わせたダイヤを組みますが、全車が切り替わるタイミングでダイヤを切り替え新型の車両性能を生かしたダイヤに切り替えるのです。今年のJRダイヤ改正ではJR東日本の「スーパーあずさ」が全車新型に切り替わります。

### ④線路の改良工事が完成する

高架、地下化や複々線化などによる改良工事の完成も改正の目玉とされます。高架や地下化による踏み切りの廃止で、事故の減少や路盤の強化によるスピードアップが見込まれ、鉄道、自動車共にメリットが生まれます。一方複々線化は緩行線(各駅停車など)と快速線(速達性が優先される優等列車など)に分離ができることから、各駅停車と快速、急行などを切り分け運転本数を大幅に増やすことができるため、ラッシュ時の混雑緩和が期待されます。小田急電鉄の代々木上原～登戸間の複々線化工事完成による改正がこれに当たり3月17日を予定しています。

